

2007 キーンズマッチレース / MR - 3
2007年 6月30日 ~ 7月1日

実 施 要 綱

Notice of Race

1. 主催団体 :主催団体は、ニッポンセーラートレーニング葉山 (NSTH) 日本ヨットマッチレース協会 (JYMA)である。
2. 開催場所、レース本部およびレース海域 :レース本部は葉山マリーナ・キャプテンズルーム前に置かれ、レース海域は葉山マリーナ沖海面に設けられる。
3. イベント・グレーディング 本大会は ISAF Grade5の大会であり、JYMAイベントグレード係数0.8とし、JYMAスキッパー・ランキング・システムにおける得点の対象となる。

4. レース日程

6月30日(土)

08:00	レース本部オープン
08:30 ~ 09:00	参加受付・体重測定、出艇申告受付
09:00 ~ 09:30	艇長会議 ホートロー
10:30	第1フライト第1マッチ注意信号発令予定
レース終了後	ホート上架、後片付け
17:00 ~ 18:00	スキッパー & アンバィア・ブリーフィング
18:00	セレブション

7月1日(日)

8:00	レース本部オープン チェックイン 体重測定
8:30 ~ 9:00	艇長会議 ホートロー
10:00	第1フライト第1マッチ注意信号発令予定
レース終了後	ホート上架、後片付け
16:30 ~ 17:00	アンバィア・ブリーフィング
17:00 ~ 17:30	表彰式
18:00	レース本部クローズ

荒天等の事由で本大会が実施できなかった場合は中止とする。

5. 参加料と申し込み

- 5.1 参加料 : HMYC、JYMAのいずれかの団体に所属のスキッパー 50,000円
上記以外の一般参加 60,000円

5.2 参加申し込み

参加申込方法 :

添付された参加申込フォームをとりだし、NSTH事務局 永島宛にEメール又はFAXにて申込書を送る。

参加申込みの期間 :2007年 5月18日(金曜日)9:00より同年 5月25日(金曜日)17:00までとする。

尚、今回のエントリーは女性スキッパー(キーンズチーム)を優先させ(20参照)、先着10名までのスキッパーの参加を認める。

参加が6チームに満たない場合は当レースを不成立又は6月30日(土)1日間の開催とすることも有りうる。(1日間の開催となった場合の参加料は半額とする。)

参加の申し込みのあったスキッパーには参加の可否についてメールにて連絡をおこなう。

参加を認められたスキッパーは、2007年6月30日(土曜日)レース初日の参加受付にて参加料全額を支払うものとする。

6. 適用規則

国際セーリング競技規則2005-2008 (付則Cを含む)、日本セーリング連盟規定、本レガッタの帆走指示書、および本実施要項を適用する。

7. ボートとセイル

- 7.1 6 艇のヤマハ 30S が主催者により用意される。
- 7.2 レース艇には各々メインセイル1枚、ジブセイル1枚、スピネーカー1枚が用意される。
- 7.3 レース艇は艇長会議時にドロウにより各スキッパーにあてがわれる。以後の乗り換えは帆走指示書による。

8. 乗員 (スキッパーを含む)

- 8.1 スキッパー (艇長)を含めて、1チームの合計体重は350kg以下でなければならない。
- 8.2 体重測定は、最低限シャツとショーツ (ブリーフ)を着用した状態で行われる。
- 8.3 測定体重は、(誤差分として)体重計の表示から0.2kgを差し引いたものとし、チームの合計体重は小数点以下を切捨てたものとする。
- 8.4 レース中の乗員の服装は、通常レース中に使用されるもののみとし、ウエイトバッグなど通常の体重を著しく変化させる道具を使用してはならない。
- 8.5 ユースチームとして参加の場合は条件を満たしていなければならない(19参照)。制限体重内であればクルーは交代してもかまわない。ただし、第2レース以降のクルーの人数は、第1レースに乗艇した人数より多くても少なくとも1人いなければならない。なお、乗員交代のために要する時間は、スタート時間の延長を求める対象とはならない。
- 8.6 乗員の内少なくとも1名は、旧5級小型船舶操縦士又は新2級小型船舶操縦免許(5トン限定)以上の免許を所有しており、海上に出るときには常時携帯していなければならない。
- 8.7 艇長は緊急の場合を除いてレース中は常にヘルムをとらなければならない。

9. レースの構成: レースの構成の詳細は艇長会議にて発表される。

10. コース

- 10.1 コースは「スタート→風上マーク→風下マーク→風上マーク→フィニッシュ」とする。風上マークおよび風下マークはスターボードサイドに見て回らなければならない(末尾コース図参照)。
- 10.2 スタートラインとフィニッシュラインは同じである。
- 10.3 コースは状況により短縮されることがある。この場合は「スタート→風上マーク→フィニッシュ」の1周とする。風上マークでのフィニッシュは行わない。
- 10.4 上マークは状況により移動することがある。その場合、艇が次のレグに入る前に反復音響信号と共にC旗を掲揚し、およその方位を掲示する。

11. 賞

クィーンズチームの1位にはJYMA賞と秋田杯が与えられる。
JYMAよりランキングが与えられる。

12. 映像と音響の権利

主催者は、大会期間中に採録された映像(動画・静止画)および音響の使用権を有し、無償で使用する事ができる。

13. 請求権の否認

主催者は、参加者がレースに参加したことにより起こりうる、陸上および海上での、人および物の損失、傷害、その他あらゆる不都合に関していっさいの責任を負わない。

14. 救命胴衣

主催者は救命胴衣を用意しない。各自持参すること。Y旗が掲げられているとき以外、救命胴衣を着用するか否かは各艇の判断による。

15. 参加選手は、レースのないときに実行委員会の指示の下に運営の補助をしなければならない。

16 . 保険

大会期間中に発生する事故に備えて、主催者は一定の保険に加入する。これ以上の補償、あるいはこれ以外の補償に関しては各艇の責任による。

17 . 物損事故の弁償義務

大会期間中、故意またはルール違反による接触事故などで、自艇および相手艇の艇体およびその艀装を損傷したスキッパーは損害を弁償する義務を有する。ただし、主催者が加入する保険が交付される場合はその免責分を負担する義務を有する。

18 . 役員・大会関係者

〔実行委員会〕

大会会長：小田切満寿雄（JSAF顧問 HMYC—NSTH）

実行委員長：星野ひろみ（JYMA 理事）

レース委員長：今津浩平（JYMA 理事）

事務局及びレース副委員長：永島 洋（HMYC-NSTH）

競技艇委員長：上田敏和（HMYC - NSTH）

チーフアンパイア：田中正昭

協力

（株）葉山マリーナー

葉山マリーナヨットクラブ（HMYC）

日本ヨットマッチレース協会（JYMA）

19 . その他

帆走指示書は、参加申し込み可否の確認後、参加スキッパーにメールにて通知連絡する。

20 . クィーンズチームの制限

スキッパー及び少なくとも乗員の 1 名が女性でなければならない。

21 . 詳細に関する問い合わせ先

永島洋

（株）オダギリ

TEL 03-3842-1011

FAX 03-3842-4529

kannribu@odagiri.co.jp

星野ひろみ

日本ヨットマッチレース協会 クィーンズマッチ担当

TEL:090-5112-5931

E-MAIL: hoshino@steor.com